

第4章 内職、自営業主、家族従業員、自由業などの就業問題

(1) 就業形態の状況 (問 16)

□「内職」・「家族従業員」は減少

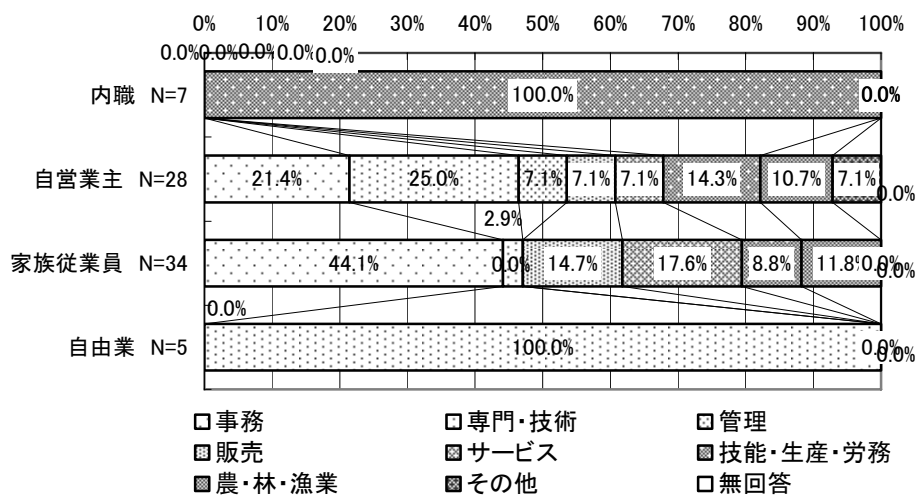
内職 (7.4%→1.5%) は 5.9 ポイント、家族従業員 (13.3%→7.2%) は 6.1 ポイント減少している。繊維産業の減少や大型店進出による小売業の衰退などの影響が考えられる。自由業 (3.9%→1.1%) も 2.8 ポイント減少している。(14 頁就業形態別参照)

□「自営業主」の職種は「専門・技術」「事務」、技能・生産・労務が多く、家族従業員は「事務」が多い

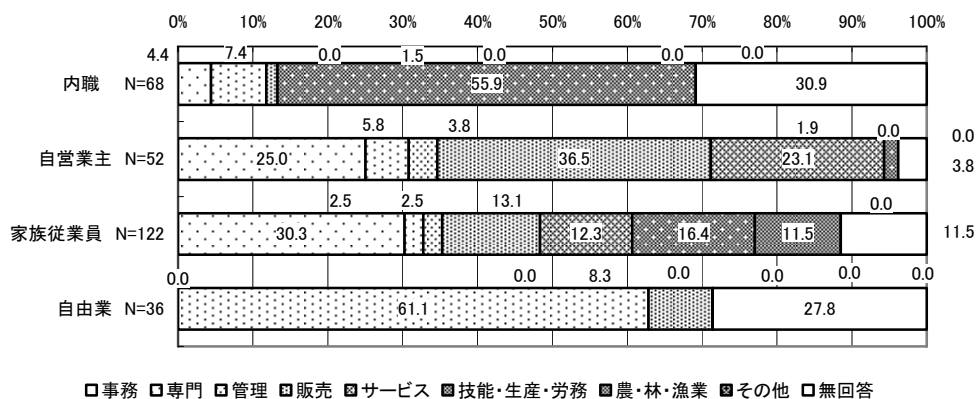
「自営業主」の職種は「専門・技術」(5.8%→25.0%)、「事務」(25.0%→21.4%)、ついで「技能・生産・労務」(1.9%→14.3%)、「農・林・漁業」(10.7%)である。「専門・技術」のその他具体的記述ではデザイナー、鍼灸師、塾講師などがあがっている。95 年より「専門・技術」が大きく増えている。

「家族従業員」では「事務的な仕事」(30.3%→44.1%)が多く、ついで「サービスの仕事」(12.3%→17.6%)、「販売」(13.1%→14.7%)とそれぞれ増加している。「技能・生産・労務」(16.4%→8.8%)は 7.6 ポイント減少している。また「専門・技術」(2.5%→2.9%)「農・林・漁業」(11.5%→11.8%)ではほぼ変化はない。「内職」は「技能・生産・労務」が 100%である。

就業形態別職種



95 年就業形態別職種

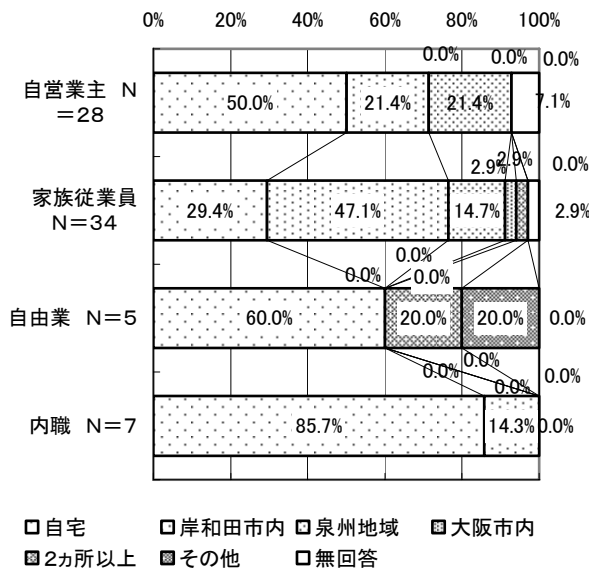


(2) 就業の状況(就業地と事業所の規模) (問 15) (問 17)

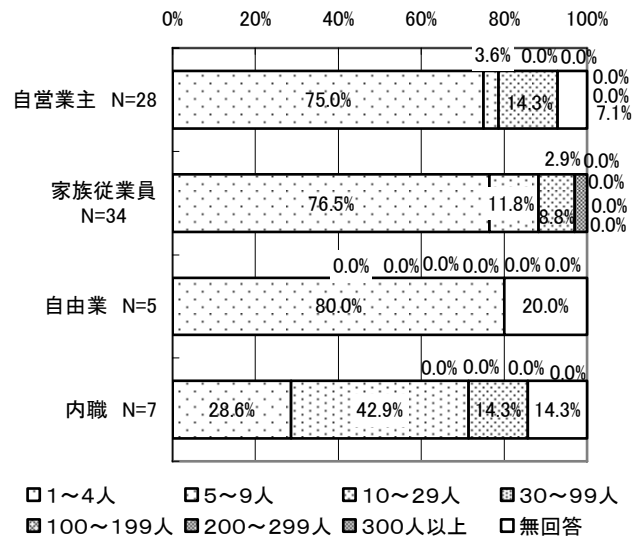
□ 自宅外「泉州地域」が増加

就業地では、「自営業主」は「自宅」と「岸和田市内」を合わせて 71.4%であり、95 年より 13.2 ポイント減少し、「泉州地域」が 6.0 ポイント増加。家族従業員は「自宅」と「岸和田市内」が 76.5%で 9.6 ポイント減少、「泉州地域」が 7.3%ポイント増加している。「内職」は「自宅」が 85.7%で 18.1 ポイントの増加である。「自営業主」の職住分離がやや増加し、比較的周辺への通勤をしている。

勤務先(就業地)



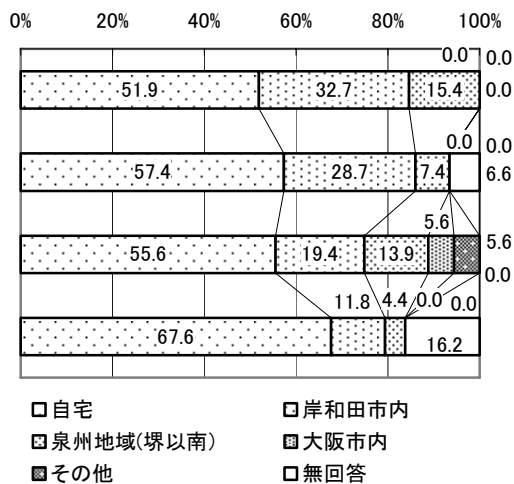
事業所規模



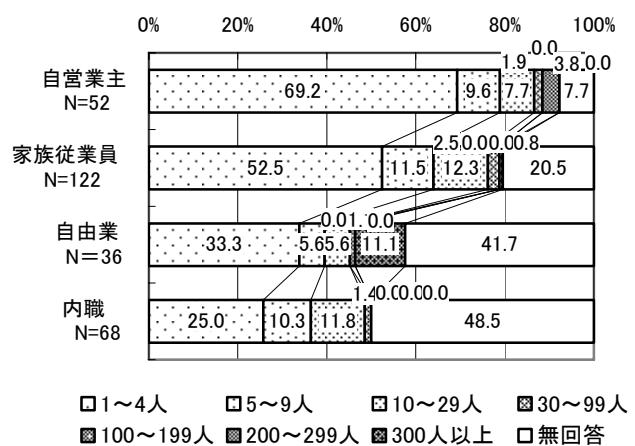
□ 「1~4人」が多数

事業所規模は「1~4人」が「自営業主」(69.2%→75.0%)、「家族従業員」(52.5%→76.5%)とも 95 年と比べてそれぞれ増加している。内職は「5~9人」が 42.9%、「1~4人」が 28.6%である。「自由業」は「1~4人」が 80.0%である。(19 頁参照)

95 年就業地



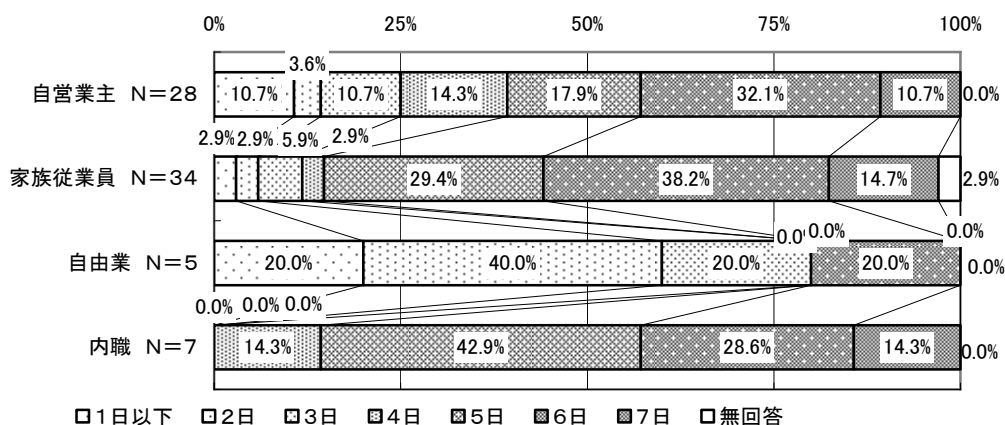
95 年事業所規模



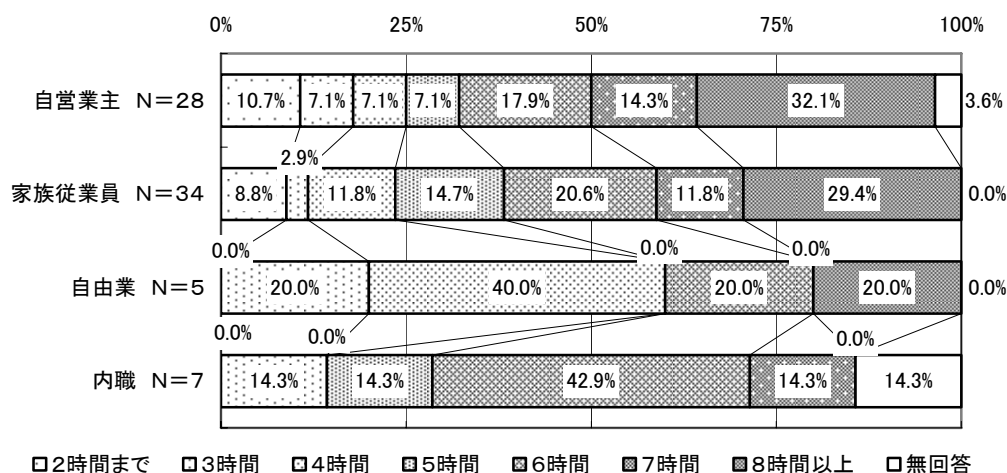
□「自営業主」「家族従業員」は長時間働き、休日が少ない。しかし 95 年に比べるとやや改善

1 日の就業時間は「自営業主」、「家族従業員」でそれぞれ「8 時間以上」が約 3 割を占める。週「6 日」または「7 日」働くが「家族従業員」（48.3%→52.9%）、「自営業主」（63.4%→42.8%）である。「自営業主」は長時間労働でかつ休みの取れない就労実態である。しかし 95 年と比べると「8 時間以上」（44.2%→32.1%）と改善されている。「内職」は 1 週間の就業日数が「5 日」、1 日「6 時間」の就労が約 4 割である。

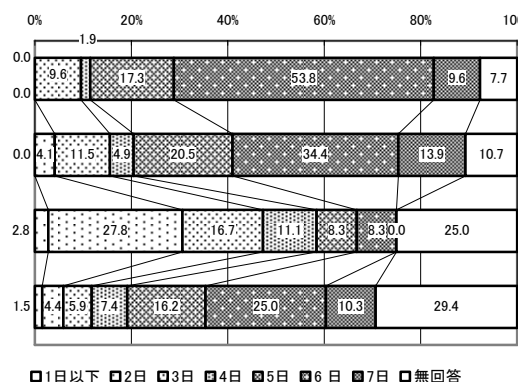
勤務日数



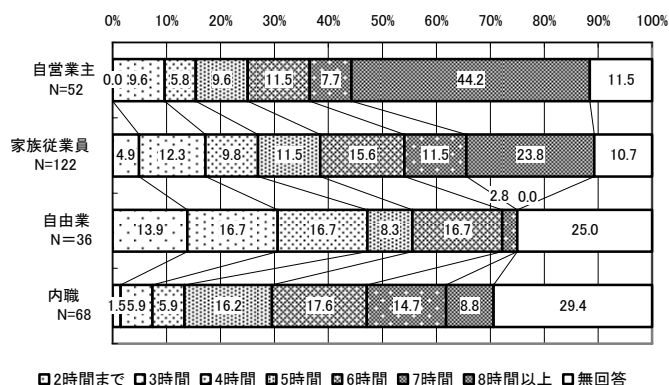
勤務時間



95 年 1 週間の就業日数



95 年 1 日の就業時間

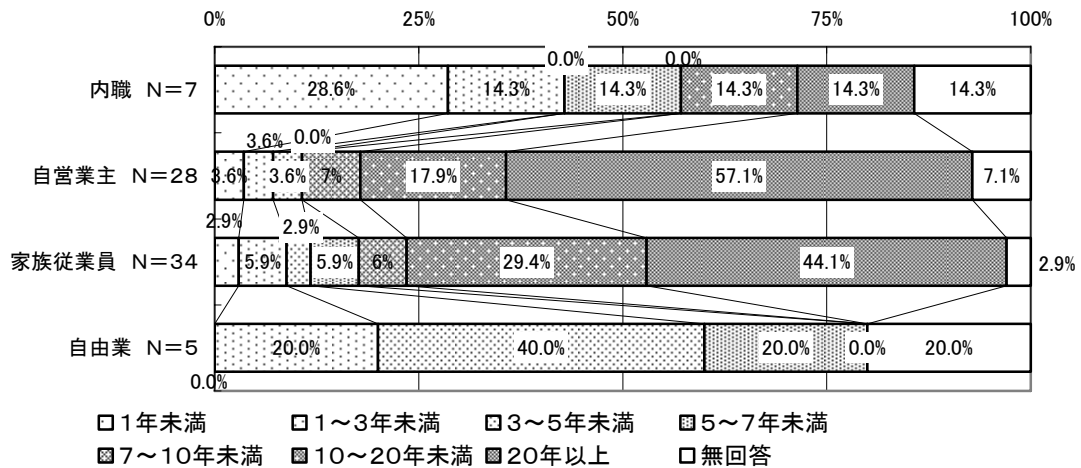


(3) 就業者の状況(就業年数・年収) (問 20) (問 21)

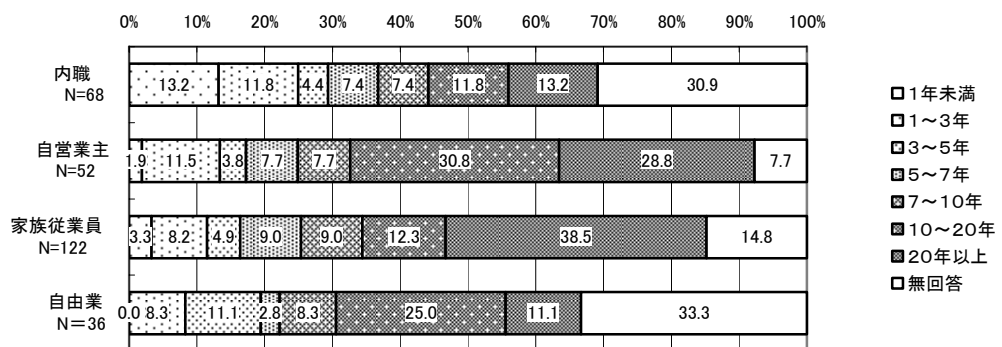
□ 就業年数は「自営業主」、「家族従業員」とも「20 年以上」が最多

就業年数を見ると「20 年以上」が「自営業主」では 57.1%、「家族従業員」では 44.1%で「10 年～20 年未満」を合わせると 70%以上となる。「自営業主」の約 80%、「家族従業員」の約 50%が 50 代以上であることに由来する。ともに「20 年以上」が 95 年より増加しているのは、ひとつには高齢化が考えられる。「内職」は「20 年以上」で (13.2%→14.3%) で微増しており長期就業がみられる。「自由業」は 5 年未満が (19.4%→60.0%) で約 3 倍になっている。

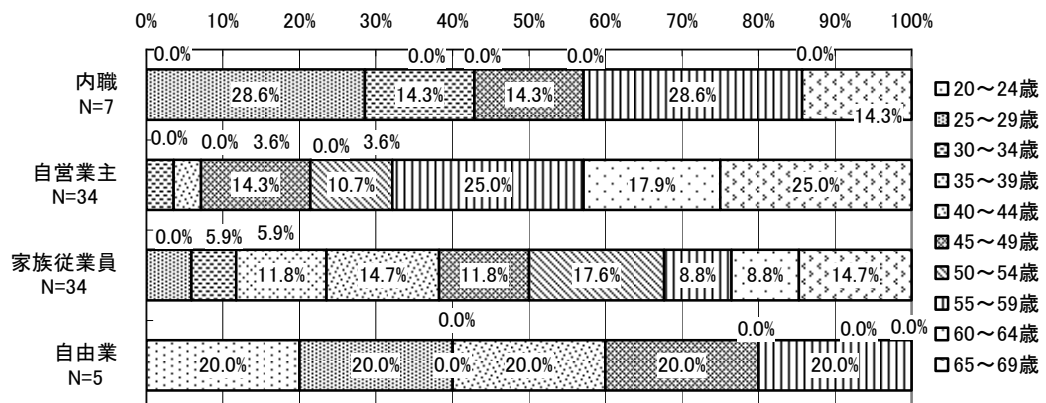
就業年数



95 年勤続年数(現事業所)



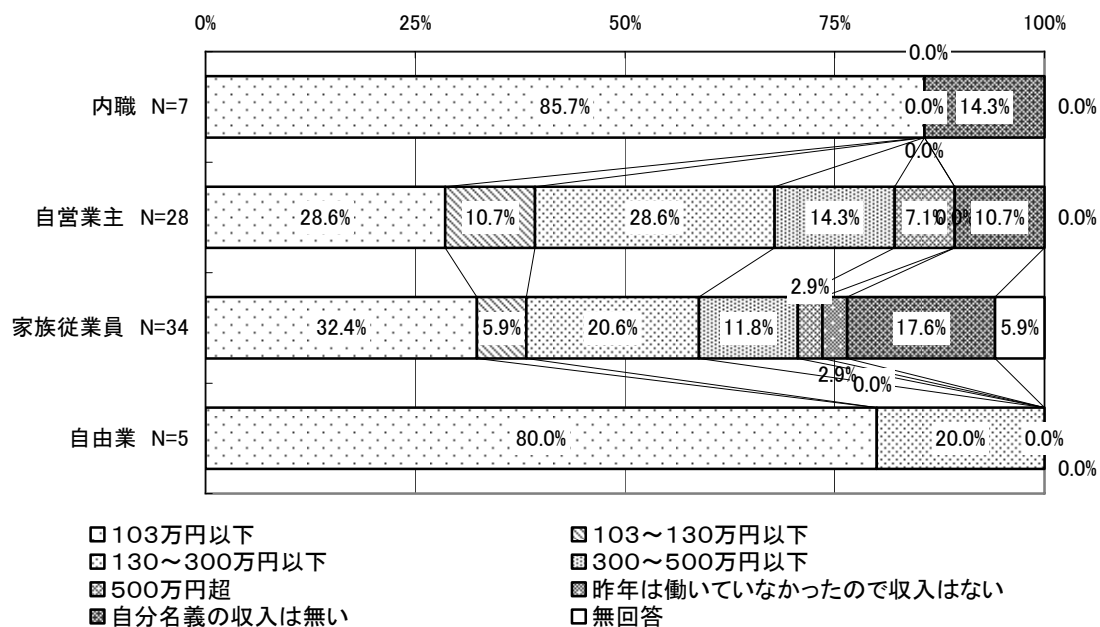
就業形態の年齢構成



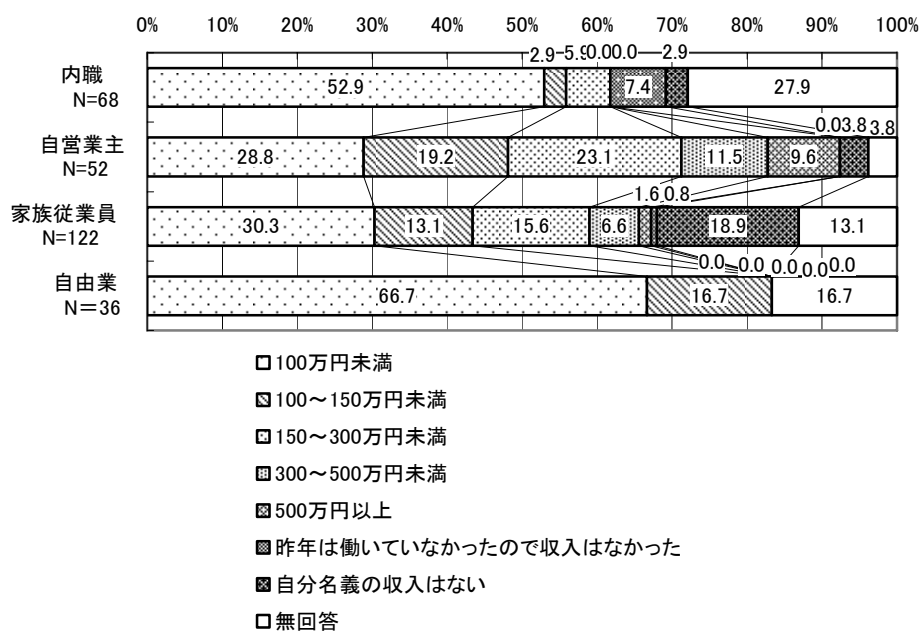
□「103 万円未満」が最も多い

年収をみると、いずれにおいても「103 万円未満」が最も多い。とくに「内職」「自由業」では8割を超える。95 年の分析時課題となった「自分名義の収入がない」については、「自営業主」（3.8%→10.7%）「内職」（2.9%→14.3%）と増加、「家族従業員」（18.9%→17.6%）はやや減少している。

年収



95 年 年収



(4)職場での悩み (問 23)

□「収入が少ない」「不況・倒産・解雇の不安」

「収入が少ない」が最も多く、特に「自由業」では 80.0%、「内職」で 57.1%である。「不況、倒産、解雇の不安」、「長時間労働」、「有給休暇、産休、育児休暇がとりにくい」も多く、共通にみられる悩みである。

「特に不満はない」が「内職」「家族従業員」でそれぞれ約 4 割を超える。

職場の悩み

